

国立ハンセン病資料館
春季企画展

着物による 療養所の暮らし

2010年4月24日(土)～7月25日(日)

国立ハンセン病資料館 企画展示室

●所在地 〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13

TEL 042-396-2909 FAX 042-396-2981

●開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）

●休館日 月曜日（月曜祝日の場合は火曜日）・祝日の次の日

●入館料 無料

「うどん縞」、「官給品」…。
入所してすぐに渡された。
2年間も使うことになっていた。

割り当てられたのは針仕事だった。
家族のためではなく、同病者のため、
共同生活の中で行った。
何度も仕立て、洗い、繕った。

「浴衣」「衣装」「ユニホーム」…
ときおりの歌舞伎や祭りに日常を忘れた。

「着物」から見えてくるもの、
それは療養所の中の日々。



病衣（邑久光明園 1940年代後半～1960年代）



洗濯板・たらい（駿河療養所 1940年代後半～1970年代）



愛生園自警団法被
(長島愛生園 1930年代～1980年代)